

特記仕様書

工事名称	市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事
工事場所	三原市宮浦一丁目
工事内容	市営宮浦北住宅1号棟の外壁改修を行う。 [工事概要] (1) 住棟 ・外壁改修工事 S=2,549㎡ ・屋根防水改修工事 S=575㎡ (2) 物置 ・外壁改修工事 仕上塗材 S=120㎡ ・屋根防水改修工事 S=94.2㎡
準 則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書 (各 最新版 国土交通省官房官庁営繕部監修) に基づき施工する。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法、同施行令、同施行規則 ・消防法、同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則 ・建設業法、同施行令、同施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法 ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて受注金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更(増額)が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和8年2月26日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。(工事の完成通知予定日は令和8年2月13日。)
留意事項	・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。 ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。 ・図面に明示されていない事項であっても、工事上で必要とされる事は工事範囲とする。 ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工期とする。 ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年6月24日改定）により工事を行うこと。
- ・工事着手前までに「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出して出席者に内容を共有すること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・外壁改修工事については、養生等によりバルコニー側の窓の開閉を制限するため、比較的気温の低い時期（10月頃）から着手すること。ただし、外壁劣化調査数量については、9月中に報告すること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音測定については、騒音規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・振動測定については、振動規制法（特定建設作業）の測定方法により測定して、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、現状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・敷地境界付近には仮囲い（高さ3m以上）を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。

- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に石綿等に関する事項を報告すること。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・品質について、社内検査員(当該工事に従事していない者)を定め、設計図書に基づき社内検査を実施し、書類等の記録に残すこと。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R（2部）にて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

市宮宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A-00	タイトル、図面リスト		A-20	部分詳細図	1/30 1/20 1/5
A-01	建築改修工事特記仕様書（1）		A-21	（改修前）屋根部分詳細図、棟番号	1/30 1/10
A-02	建築改修工事特記仕様書（2）		A-22	（改修後）屋根部分詳細図、棟番号	1/30 1/10
A-03	建築改修工事特記仕様書（3）		A-23	（物置）外部仕上表、平面図、屋根伏図、立面図、矩計図	1/50 1/30
A-04	建築改修工事特記仕様書（4）		A-24	仮設計画図（参考図）	1/500
A-05	建築改修工事特記仕様書（5）				
A-06	外壁改修工事特記仕様書（1）				
A-07	外壁改修工事特記仕様書（2）				
A-08	付近見取図、工事概要				
A-09	配置図	1/500			
A-10	外部仕上表				
A-11	1 ～ 4 階平面図、建具配置図	1/100			
A-12	5 階平面図、建具配置図	1/100			
A-13	塔屋 1 ・ 2 階平面図、建具配置図	1/100			
A-14	南側立面図	1/100			
A-15	北側立面図	1/100			
A-16	西側、東側立面図	1/100			
A-17	矩計図	1/30			
A-18	階段断面詳細図	1/50			
A-19	建具表	1/50			

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22（1）第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.		DATE	SCALE	TITLE	NO. A 00	図面縮小率			
			CH.	PL.	2024. 11.		DR.		市宮宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事	A-2：100%		
										NAME	タイトル、図面リスト	A-3：71%
												A-4：50%

[illegible]

3

防水改修工事

①

降雨等に対する養生方法

②

既存防水の処理

③

既存下地の処置

4

アスファルト防水

改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。
・
[3.1.3]

既存保護層の撤去
・ 行う(範囲 図示) [3.1.4] [3.2.3、4、6]
・ 行わない
既存防水層の撤去
・ 行う(範囲 図示)
・ 行わない
既存露出防水層表面の仕上り塗装の除去
(・ MAS ・ MASI ・ MAC ・ MADI ・ L4X)

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 図示 [3.2.6]
POS工法及びPOS工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
改修標準仕様書3.2.6(4)(g)による
・
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通/パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層未端部の納まり部の処理
図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

屋根保護防水
防水層の種類 [3.3.2～5]

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70g/m ² 程度	・乾式保護材 ・コンクリート 押入 ・れんが押入 JIS R 1250
・P1B	・B-1 ・B-2				
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3	(材質) JISA9521に基づく押出法	ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキャン付き)	フラット ヤーンクロス 70g/m ² 程度	
・P1BI	・BI-1 ・BI-2		(厚さ)(mm) 25・50		

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

平場の保護コンクリートの厚さにて仕上げ
こて仕上げ 水下 80mm以上
床タイル張り 水下 60mm以上

乾式保護材
窯業系(パネル・無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板:金属板と樹脂を積層一体化したものを。

(品質・性能)

分類・規格	・窯業系パネル類	・金属複合板
寸法(mm)	厚さ(mm)	
	幅(mm)	
寸法の許容差	厚さ: +10%、-5%、幅: ±1%	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下	-
曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)	標準時 550以上 凍結融解完了時(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)(試験サイクル数)	300以上 250以上(300)
吸水率(%)	20以下	1以下
吸水による長さ変化率(%)	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 (明らかに吸水しないことと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。)	
耐衝撃性能	質量500g(窯業系(パネル類は1.000g)のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500gのなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。
剛性(E×1) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)	-	80,000N・cm ² 以上

(試験方法)
(1)寸法の測定方法
(厚さ)供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めて(パネルの厚さとする。
(幅)供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所での寸法を、JIS B 7512「鋼製尺」に規定する目量1mmの1級コンパックスルール又は、JIS B 7516「金属製直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2)曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは100mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系(パネル類は200サイクルまでとする。))なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3)吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4)難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

5

改質アスファルトシート防水

(5)吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち2時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調製したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼしてし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。2時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。
吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。
(ΔL)=(L2-L1)/L1×100 ΔL:吸水による長さ変化率(%)
L1:乾燥時の標線間の長さ(mm) L2:吸水時の標線間の長さ(mm)
(6)耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の凍中凍結水中融解法によって行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系(パネル類は200サイクルまでとする。))
凍結融解操作の試験条件は、試験片の切斷小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に2時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の空气中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。
(7)耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単点支持方法による。
試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1・1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2、3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・MAC	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			種類 使用量	製造所の仕様	・適用する
・KGD ・POD	・D-1 ・D-2				製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない
・PODI ・KDI ・MADI	・DI-1 ・DI-2	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材(種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ)(mm) 25・50			製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

脱気装置の種類 アスファルトルーフィング類の製造所の指定
脱気装置の設置数量 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ入り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示
屋内防水

工法	種別	施工箇所
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2	

E-1の場合で工程3を行う部位(貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)保護層・設ける(図示)・設けない
立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法
アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度
屋上排水溝 図示

屋根露出防水 防水層の種類 [3.4.2、3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・MAAS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			種類 使用量	製造所の仕様	・適用する
・KAS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3				製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない
・KAS1 ・MAAS1 ・POAS1	・AS1-T1 ・AS1-J1	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材(種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ) 25mm ・50mm			製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない 防湿層・設ける ・設けない

6

合成高分子系ルーフィングシート防水

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
厚さ (mm以上)

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

脱気装置の種類 改質アスファルトシートの製造所の指定
脱気装置の設置数量 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)

立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法
アルミニウム製 L・30×15×2.0mm程度

絶縁断熱工法の防水湿シート
・設置する
・設置しない

防水層の種類 [3.5.2～4] [表3.5.1～3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
・POS ・S4S	・S-F1			種類 使用量	製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない
	・S-F2 ・S-M1				製造所の仕様	・適用する
	・S-M2				製造所の仕様	・適用する
・S3S	・S-F1				製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない
	・S-F2 ・S-M1				製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない
	・S-M2				製造所の仕様	・適用する
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1	改修標準仕様書3.5.2(3)(1)(b)による(種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ)(mm) 25・50			製造所の仕様	・適用する 脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設ける ・設けない
	・SI-F2 ・SI-M1	改修標準仕様書3.5.2(3)(1)(a)による(種類) 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 (厚さ)(mm) 25・50			製造所の仕様	・適用する
	・SI-M2				製造所の仕様	・適用する

S・F1・S・M1・S・F2・S・M2の仕様
非歩行用 ・軽歩行用
S・M1及びS・M2における防湿用フィルムの設置
設置しない ・設置する
SI・M2の絶縁用シートの材質
発泡ポリエチレンシート
S・M2及びSI・M2の立上り部の工法
接着工法(立ち上がり面のシートの厚さ 1.5mm) ・機械的固定工法

屋内防水 防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護モルタルの塗厚
・S・C1		平場のモルタル塗り		7mm以下
		塗厚	工法	
		・床塗り ・下地モルタル塗り		

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
材料構成による区分 R種
厚さ (mm以上)

固定金具の材質及び寸法形状
防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの

脱気装置の種類及び設置数量
接着工法の場合の脱気装置の種類 ルーフィングシートの製造所の仕様
接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)
・行う(図示)・行わない
プレキャストコンクリート部材下地の目地処理(接着工法の場合)
・行う(図示)・行わない
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)
・行う(図示)・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

7

塗膜防水

防水層の種類 [3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	使用量	高日射反射率防水	備考
・POX	・X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H		2成分形アクリルウレタン樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリルシリコン樹脂系	主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置・設ける ・設けない 改修用ドレン・設けない
・L4X	・X-1 ・X-2 ・X-3H ・X-2H			主材料の製造所の仕様	・適用する	脱気装置・設ける ・設けない
・P1Y	Y-2					保護層 ・設ける ・設けない
・P2Y	Y-2					保護層 ・設ける ・設けない

X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類 主材料の製造所の仕様
X-1(絶縁工法)の脱気装置の設置数量 主材料の製造所の仕様 (個)

シーリング [3.7.2、3、3.7.7]

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
○シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない
エッジング材張り ・適用する ・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

仕上げを行わない施工箇所
・図示による ・打継目地
シーリング材の目地寸法 改修標準仕様書表3.7.3(1)による
接着性試験 簡易接着性試験 ・引張接着性試験

といの材質
・配管用銅管
○硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフトレンドレン
・表面処理鋼板(表面及び裏面の塗膜の種類)

種別	施工箇所
・ろく屋根用(・板型・模型)	
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔
改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの
多雪地域 ・適用する
防鼠材のホルムアルデヒド放散量 F
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 図示
鋼管製といの防鼠巻き 改修標準仕様書表3.8.4による
たてとい受金物の取付け 図示

【 3.9.2、3 】

種別 オープン形式(・押出250形・押出300形・押出350形)
・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式)
本体幅 ()mm 板厚 2.0mm (mm)
表面処理 種別 ()種
色合等 ・標準色() ・特注色()
既存笠木等の撤去 ・行う(範囲 図示) ・行わない
下地補修の工法 図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 図示
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

8

アルミニウム製笠木

防水改修フロー及び数量
・既存保護層の補修及び処置

防水面調査(施工数量調査)

ひび割れ部補修	欠損部改修	浮き部補修	ぜい弱部補修	既存目地欠損部補修	既存目地欠損部補修(脱気を利用する場合)

アスファルト防水工事用シール材(幅2mm未満)	リカットのうえポリウレタン系シーリング材(幅2mm以上)	ポリマーセメントモルタル補修	ポリマーセメントモルタル補修	漆喰のうえポリマーセメントモルタル補修	クレタ等のうえポリマーセメントペースト補修	アスファルト防水工事用シール材	ポリマーセメントモルタル補修	既存目地撤去のうえポリウレタン系シーリング材
0m	0m	0m	0m2	0m2	0m2	0m	0m	0m

シーリング改修
シーリング再充填工法

mm×mm	mm	mm	mm
mm×mm	0m	mm×mm	0m

特記事項

訂正事項

一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号

岡田建築設計事務所

一級建築士 第102449号 岡田文夫

JOB . NO . DATE 2024.11. CH . PL . DR .

SCALE

TITLE 市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事

NAME 建築改修工事特記仕様書(2)

NO . A 02

図面縮小率 A-2: 100% A-3: 71% A-4: 50%

1

石綿含有建材の除去工事

2

外断熱改修工事

3

新熱・防震改修工事

4

屋上緑化改修工事

5

透気性アスファルト舗装改修工事

6

断熱材

7

外装材

8

既存外装の処置

9

工法

10

その他

11

フリーアクセスフロア

12

表示

13

ブラインド

14

ロールスクリーン

15

カーテン

16

カーテンレール

17

ブラインドボックス及びカーテンボックス

18

天井点検口

9.1.1.3～5.1

・石綿粉じん濃度測定
測定時間、場所及び測定点
適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点（各施工箇所ごと）
測定1 処理作業前 処理作業室内 ・計 点
測定2 調査対象室外部の付近 ・計 点
測定3 処理作業中 処理作業室内 ・計 点
測定4 セキュリティゾーン入口 ・計 点
測定5 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/s以下（処理作業室外の場合）の位置 ・計 点
測定6 処理作業室外 施工区画周辺 ・敷地境界 計 点
測定7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 ・計 点
測定8 処理作業後（シート撤去後） 調査対象室外部の付近 ・計 点
測定9 1週間以降）

測定方法
・自動測定器による測定
測定名称 測定方法
・測定4 ・測定5 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・測定（ ）

・ JIS K 3850-1に基づいた測定
測定名称 メンブレンフィルタ直径（mm） 試料の吸引流量（l/min） 試料の吸引時間（min）
・測定4 ・測定5 ・測定（ ） 25 5 30
・測定（ ） 47 10 120
・測定（ ） 47 10 240
・測定（ ）

石綿含有建材の処理
・石綿含有付付け材の除去
除去対象範囲 図示
除去工法 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による

除去した石綿含有付付け材等の飛散防止措置 遮覆化 ・図形化
除去した石綿含有付付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 図示
除去工法 原形のまま、手ばらし ・破壊して除去
除去した石綿含有付付け材等の飛散防止措置 遮覆化 ・図形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去
除去対象範囲 図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有石膏ボード
埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去
除去対象範囲 図示
養生方法
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上建材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による
除去工法
石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法
・集じん装置併用手工具ケレン工法
・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）
・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）
・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）
・剝離剤併用手工具ケレン工法
・剝離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）
・剝離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）
・剝離剤併用超音波ケレン工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

除去対象範囲 図示
作業場の隔離 行わない ・行う
試験施工 行わない ・行う
養生方法
除去した石綿含有仕上建材の処分
・埋立処分（安定型最終処分場） ・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
除去した石綿含有仕上建材の保管、運搬及び処分
改修標準仕様書9.1.3(3)による
確認及び後付け 改修標準仕様書9.1.3(4)(7)(9)(f)、(h)及び(9)による

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示
断熱材
断熱材の種類（ ）、断熱材の厚さ（ mm）
施工箇所 ・図示
ホルムアルデヒド放数量 F
外装材
種類 防火性能 備考

既存外装の処置
既存外装仕上材の撤去 ・あり ・なし
下地の清掃 ・行う ・行わない
欠損部がある場合の改修工法 4章外装改修工事による

工法
1章 適用区分による風圧力（ ・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 ・図示
通気層の有無 ・あり（ mm）
断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け
断熱材及び外装材製造所の仕様による

9.3.2～4.1

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 F
・断熱材打込み工法

種類 厚さ（mm） 施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・25
押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スパン層なし） 2種bA 25 外壁
3種bA 25 スラブ

・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・25
・フェノールフォーム断熱材 ・25

施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 A種1 ・A種1H
吹付け厚さ（mm） ・25 ・30
施工箇所 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床下等、部分的に後張りとななければならない箇所
・図示

現場発泡断熱材（品質・性能）
項目 品質・性能
難燃性 下記のいずれかによっていること
（1）JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。
（2）法定事不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験（コーンカロリ試験）に適合していること。
発熱性 事不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は45分において次の（1）～（3）に適合していること。
（1）総発熱量が9MJ/m²以下であること。
（2）防火上必要な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。
（3）最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。

（試験方法）
（1）原液試験（原液粘度試験）
JIS K 7117-1「プラスチック・液体、乳濁状又は分散状の糊剤・ブルックフィールド形回転粘度計による発泡性粘度の測定方法」による
（2）発泡体試験
1）試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。
2）試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。
3）試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。
4）圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。
5）熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。
6）接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。
7）透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。
（3）難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。
1）難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準ずる。
2）発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が事不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

・断熱材後張り工法
断熱材の種類（ ）
断熱材の厚さ（ mm）
・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル（材質 厚さ mm）
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張り付け工法

植栽基礎及び材料
屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない
芝及び地被類の種類等 図示
見切り材、舗装材 排水穴、マルチング材等 図示

（品質・性能等）
項目 品質・性能
透気、排水層等構成材の主要材質 合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
（保水層を有する場合は、保水層共）
透気層 自語来により植物の生育に支障を生じることがなく、積込み用水を流出させない構造であること。
排水層 植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び積込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の積込方向の排水性能 240L/m²・h以上
耐荷重性能（排水層の許容圧縮強度） 一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。
3×10³N/m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。
耐根層 重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根層保護層 材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート（絶縁シートも含む）の下に設ける場合は省略することができるものとする。

（試験方法）
（1）排水基礎の耐荷重性能
（イ）3×10³N/m²の等分布荷重による加圧試験を行い、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する圧み（％）を測定する。（保水層を有する場合は保水層も対象とする。）
（ロ）試験体は耐根層から透気層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

1章 適用区分による風圧力の（ ・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・設置する（種類 ）
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない

新植した芝及び地被類の枯補償の期間 引き渡しの日から1年

下記以外は、10章その他による

既存舗装の撤去及び再利用 図示

9.2.1～4.1

石綿含有付付け材の除去
除去対象範囲 図示
除去工法 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による

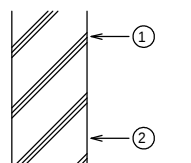
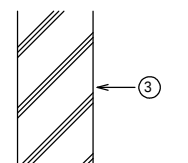
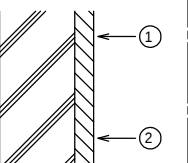
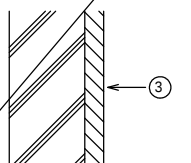
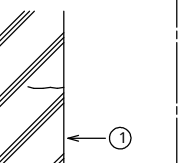
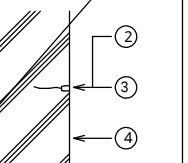
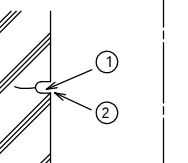
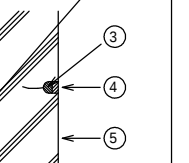
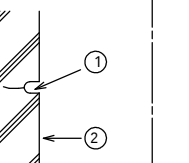
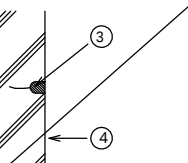
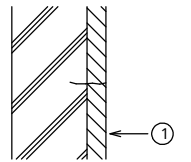
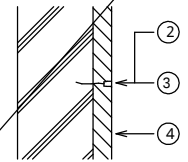
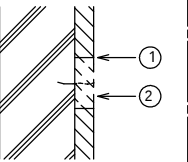
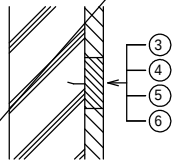
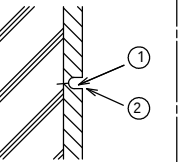
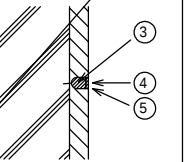
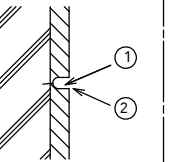
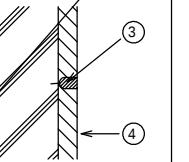
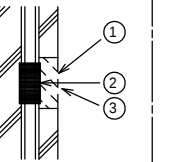
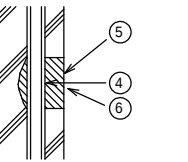
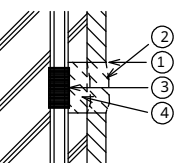
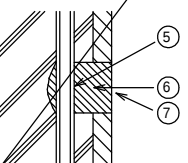
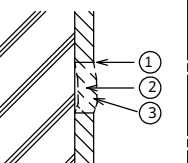
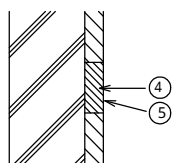
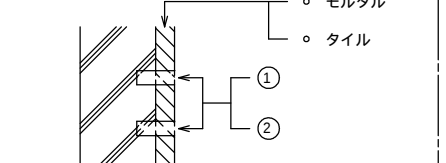
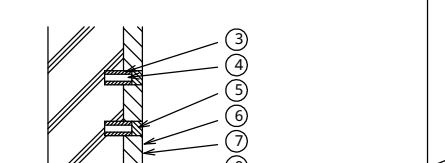
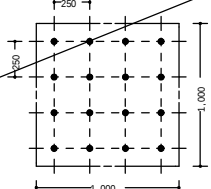
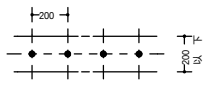
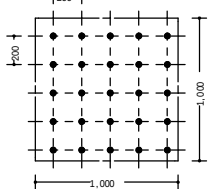
除去した石綿含有付付け材等の飛散防止措置 遮覆化 ・図形化
除去した石綿含有付付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

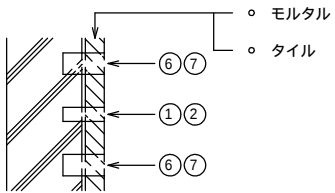
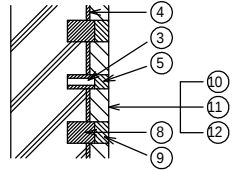
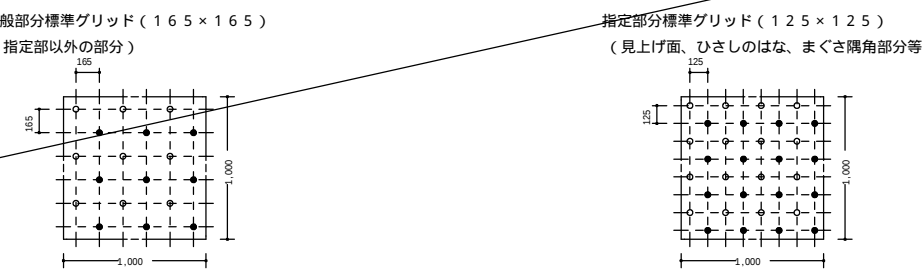
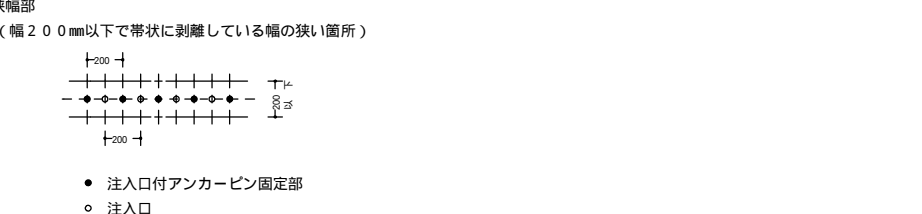
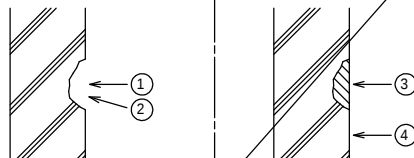
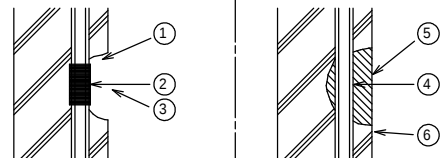
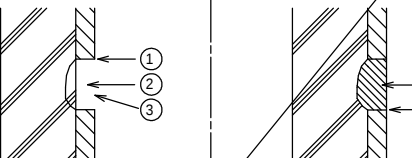
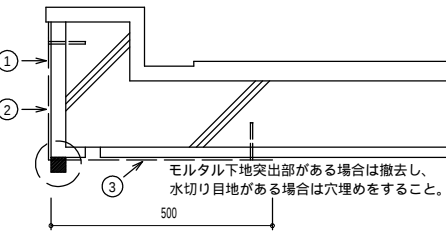
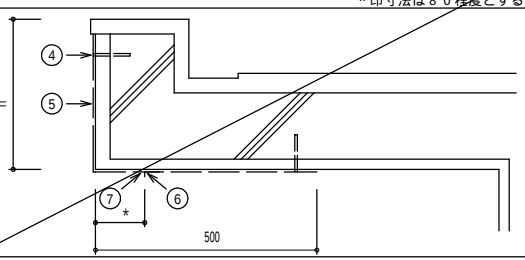
・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 図示
除去工法 原形のまま、手ばらし ・破壊して除去
除去した石綿含有付付け材等の飛散防止措置 遮覆化 ・図形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去
除去対象範囲 図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有石膏ボード
埋立処分（管理型最終処分場）
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

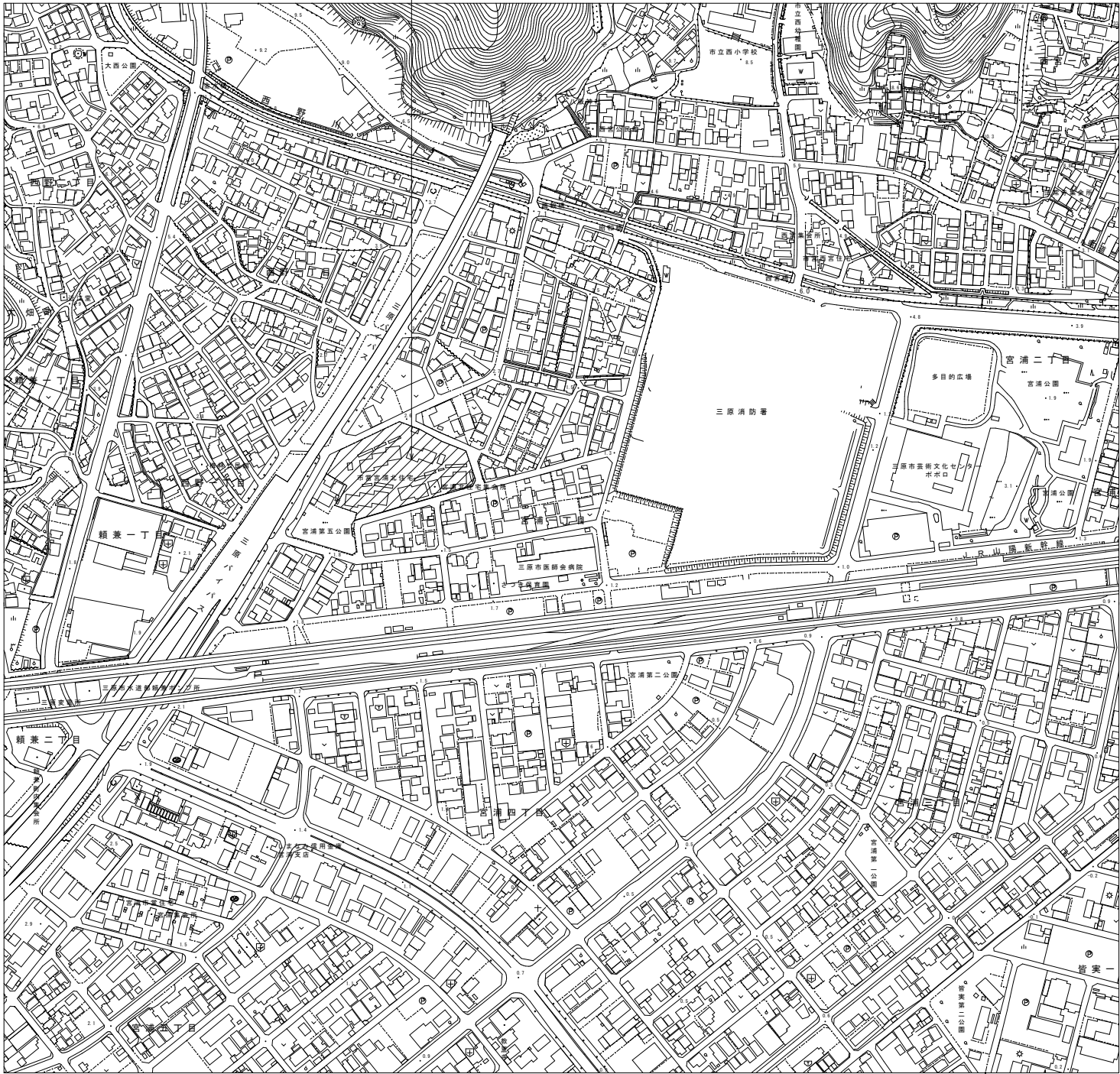
・石綿含有成形板等（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去
除去対象範囲 図示
養生方法
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上建材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による
除去工法
石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法
・集じん装置併用手工具ケレン工法
・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～

名 称		A 表面劣化部処理		A - 2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B ひび割れ部処理		B - 2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 1.0mm以上		B - 3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 0.2～1.0mm			
改修前	改修後												
		既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） 参考数量：㎡		既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（＊全面 ・部分） 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） 参考数量： ㎡		サンダーケレン ひび割れ部シール エポキシ樹脂注入 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 1工法を行う場合は， ， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： ひび割れ幅 0.2～0.5mm （ ） （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す		ひび割れ部Uカット 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） シーリング材打設 Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 1工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： m		ひび割れ部Uカット 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） 可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 1工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： m			
名 称		B ひび割れ部処理								C 錆鉄筋部処理			
記号・仕様		B - 4 モルタル面樹脂注入工法 [共仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2～1.0mm		B - 5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2～1.0mm		B - 6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm以上		B - 7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2～1.0mm		C - 1 打放し面錆鉄筋部処理			
改修前	改修後												
		サンダーケレン ひび割れ部シール エポキシ樹脂注入 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， ， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： ひび割れ幅 0.2～0.5mm （ ） ひび割れ幅 0.5～1.0mm （ ） （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す		ひび割れ周囲モルタルカッター切り モルタル除去 ひび割れ部シール エポキシ樹脂注入 埋戻し セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量：		ひび割れ部Uカット 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） シーリング材打設 Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量：0.0m		ひび割れ部Uカット 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） 可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量：		錆鉄筋周辺のはつり 錆落とし 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） 防錆処理 はつり部埋戻し整形 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 1工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量：12.0㎡ 6-1号棟：6.0㎡ 6-2号棟：6.0㎡			
名 称		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理									
記号・仕様		C - 2 モルタル面錆鉄筋部処理		D - 1 モルタル面はつり		D - 2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D - 2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]							
改修前	改修後							一般部分標準グリッド（250×250） （指定部以外の部分）  狭幅部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）  アンカーピン固定部 （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） 					
		カッター縁切り 浮き部はつり 錆落とし 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） 防錆処理 はつり部埋戻し整形 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： 3.0㎡		カッター縁切り 浮き部はつり 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） はつり部埋戻し整形 セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： 4.0㎡		穿孔 穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] サンダーケレン 高圧水洗浄（150～200kg / c㎡） セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） A - 2工法を行う場合は， ， ， の工程はA - 1工法に含む。 参考数量： 一般部分： 指定部分： 狭幅部：							
特記事項		訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号		JOB. NO. DATE CH. PL. DR.		SCALE		TITLE 市営宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事		NO. / 図面縮小率	
				岡田 建築 設計 事務所						外壁改修工事特記仕様書（1）		A / 06	
												A-2：100%	
												A-3：71%	
												A-4：50%	
				一級建築士 第102449号 岡田文夫									

名 称		D 浮き部処理																																																																																																																							
記号・仕様		D - 6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕 4 . 4 . 1 4] D - 6 ' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕 4 . 5 . 1 3]																																																																																																																							
改修前	改修後																																																																																																																								
工 程		<table><tr><td>ピン固定部穿孔</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>孔内エアークleaning</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>注入口穿孔</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>サンダーケレン</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td>高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m²)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ステンレスピン (注入口付) 挿入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>孔内エアークleaning</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td>A - 2 工法を行う場合 , , の工程は A - 2 工法に含む</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エポキシ樹脂注入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>エポキシ樹脂注入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td><td>参考数量 : 一般部分 :</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td><td>指定部分 :</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>狭幅部 :</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>										ピン固定部穿孔	一般部	9	ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所		指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	孔内エアークleaning	一般部	9	ヶ所	注入口穿孔	一般部	9	ヶ所	サンダーケレン					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²)				ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部	9	ヶ所	孔内エアークleaning	一般部	9	ヶ所	セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm)					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	A - 2 工法を行う場合 , , の工程は A - 2 工法に含む				エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	参考数量 : 一般部分 :					指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	指定部分 :												狭幅部 :					
ピン固定部穿孔	一般部	9	ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所	穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所																																																																																																														
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所																																																																																																														
孔内エアークleaning	一般部	9	ヶ所	注入口穿孔	一般部	9	ヶ所	サンダーケレン																																																																																																																	
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²)																																																																																																																	
ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部	9	ヶ所	孔内エアークleaning	一般部	9	ヶ所	セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm)																																																																																																																	
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	A - 2 工法を行う場合 , , の工程は A - 2 工法に含む																																																																																																																	
エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所	参考数量 : 一般部分 :																																																																																																																	
	指定部	16	ヶ所		指定部	16	ヶ所	指定部分 :																																																																																																																	
								狭幅部 :																																																																																																																	
名 称		E 欠損部処理																																																																																																																							
記号・仕様		E - 1 打放し面充填工法 [標仕 4 . 3 . 7]				E - 2 打放し面欠損部処理 [標仕 4 . 3 . 3]				E - 3 モルタル面欠損部処理 [標仕 4 . 4 . 3]																																																																																																															
改修前	改修後																																																																																																																								
工 程		欠損部はつり等での整形 高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²) 欠損はつり部埋戻し [エポキシ樹脂モルタル又はポリアセメントモルタル] セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm) A - 1 工法を行う場合 , , の工程は A - 1 工法に含む 参考数量 :				欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 錆落とし 高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²) 防錆処理 欠損はつり部埋戻し [エポキシ樹脂モルタル又はポリアセメントモルタル] セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm) A - 1 工法を行う場合 , , の工程は A - 1 工法に含む 参考数量 : 5.0㎡				カッター縁切り 欠損部はつり等での整形 高圧水洗浄 (1 5 0 ~ 2 0 0 kg / c m ²) 欠損はつり部埋戻し [エポキシ樹脂モルタル又はポリアセメントモルタル] セメント系下地調整材コテ塗り (1 . 5 mm ± 0 . 5 mm) (鉄筋の露出部がある場合は E - 2 による) A - 2 工法を行う場合 , , の工程は A - 2 工法に含む 参考数量 : 12.0㎡				下地補修後 プライマー下塗り ポリマーペースト中塗り 三軸ネット張り ワッシャー付アンカーピン打ち込み ポリマーペースト中塗り アルミ水切り取付け (L-30 × 15 × 2.0 ステンレスビス止 @ 450) シーリング打設 (M S - 2) <table><tr><td rowspan="2">参考数量</td><td>ネット張り</td><td></td><td></td></tr><tr><td>水切り</td><td></td><td></td></tr></table>		参考数量	ネット張り			水切り																																																																																																					
参考数量	ネット張り																																																																																																																								
	水切り																																																																																																																								
名 称																																																																																																																									
記号・仕様																																																																																																																									
改修前	改修後																																																																																																																								
工 程																																																																																																																									
特記事項		訂正事項		一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫				JOB . NO . DATE 2024.11. CH . PL . DR .		SCALE TITLE 市営宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事 NAME 外壁改修工事特記仕様書 (2)		NO . A 07 図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%																																																																																																													

工事場所
三原市宮浦一丁目
市営宮浦北住宅

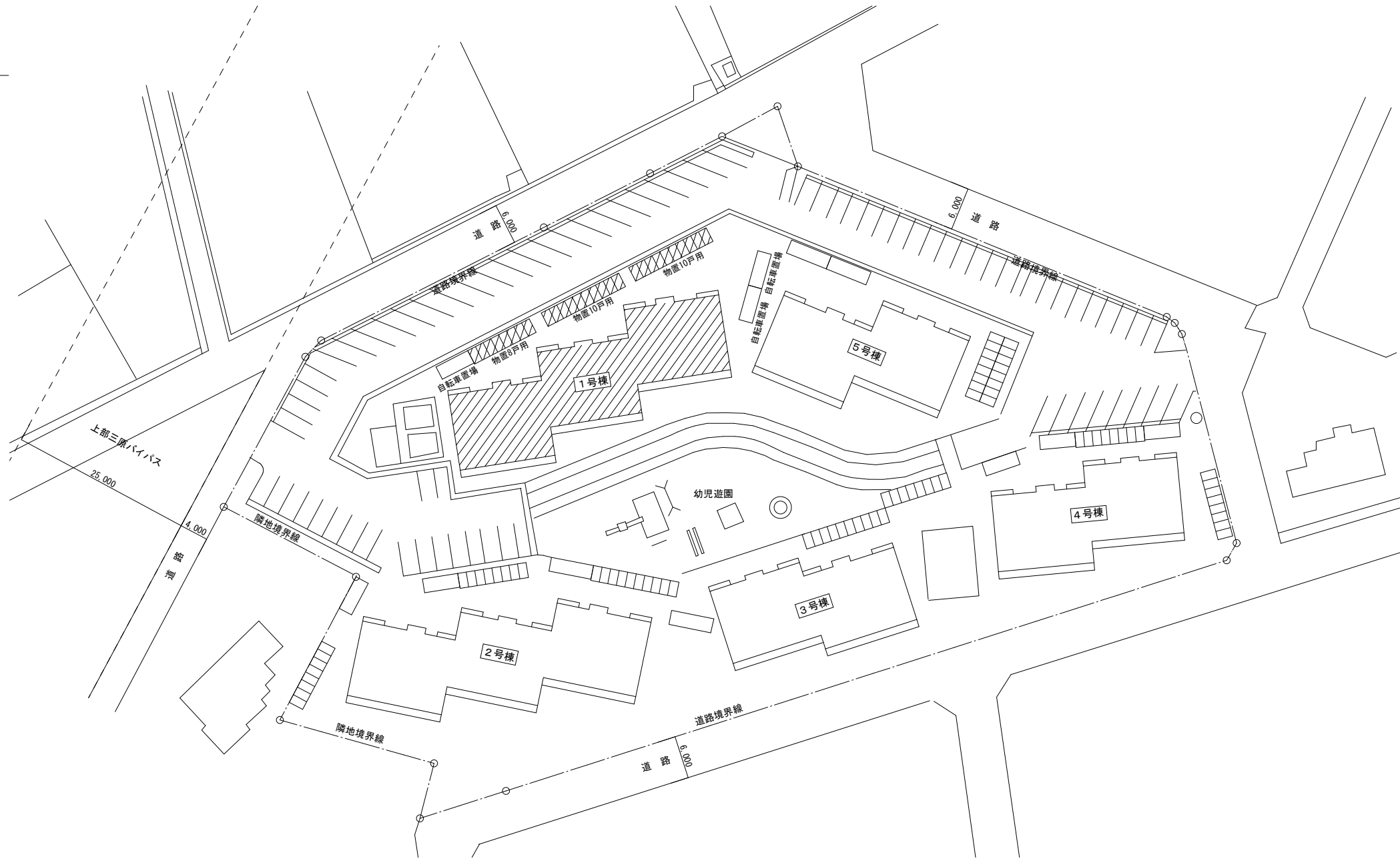
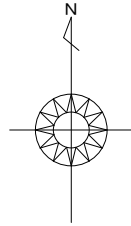


付近見取図

出典
※国土地理院図を一部編集

市営宮浦北住宅1号棟 工事概要
RC造 5階建 延べ面積 1,896.57㎡
外壁改修工事
屋根防水改修工事
ベランダ防水工事
物置屋根、外壁改修工事
手すり等改修工事
縦樋、軒樋取替工事

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO. A 08	図面縮小率
			CH.	2024. 11.		市営宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事		
			P.L.	DR.		NAME		
						付近見取図、工事概要		

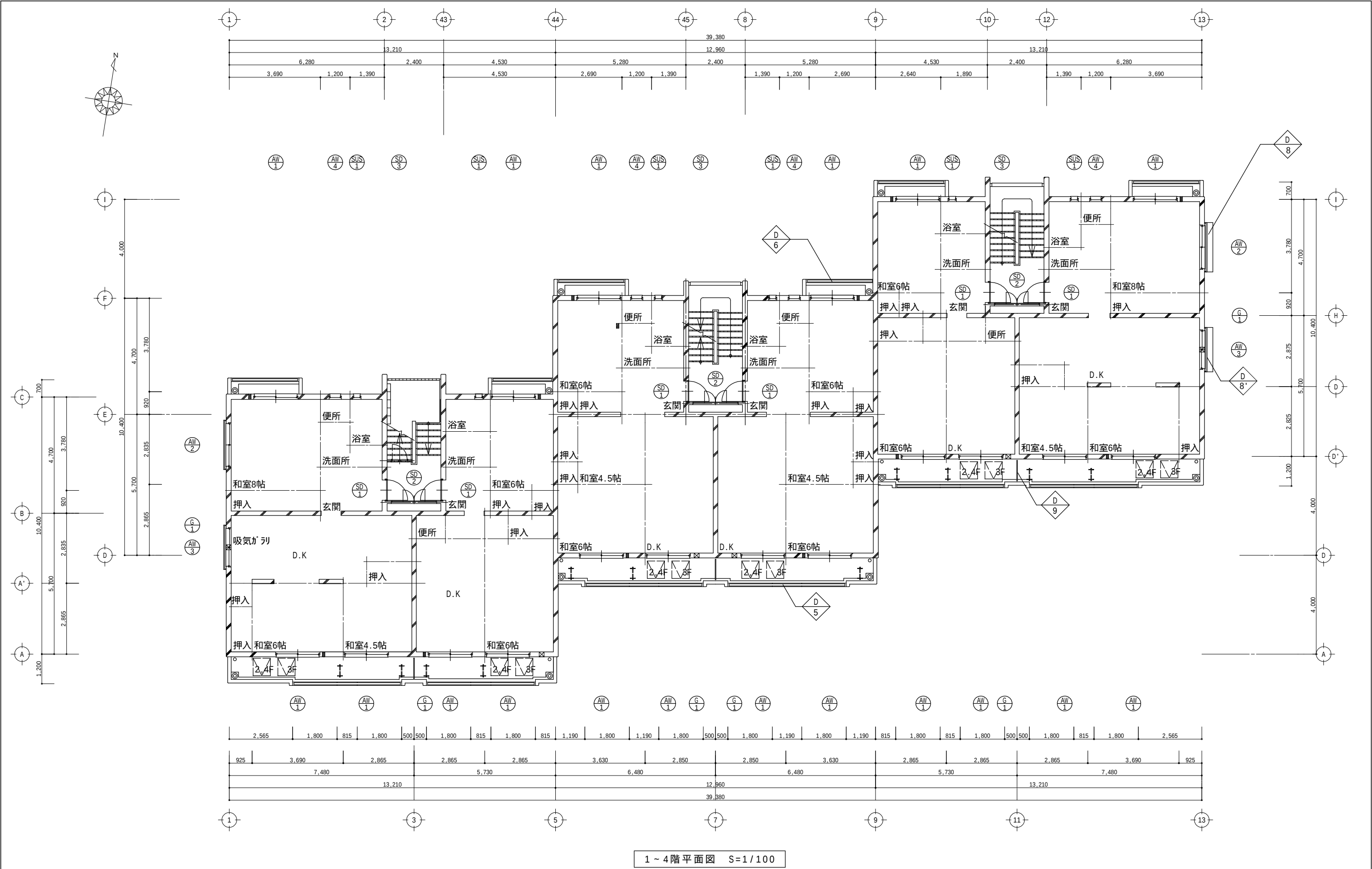


配置図 S=1/500

凡例

 工事範囲を示す

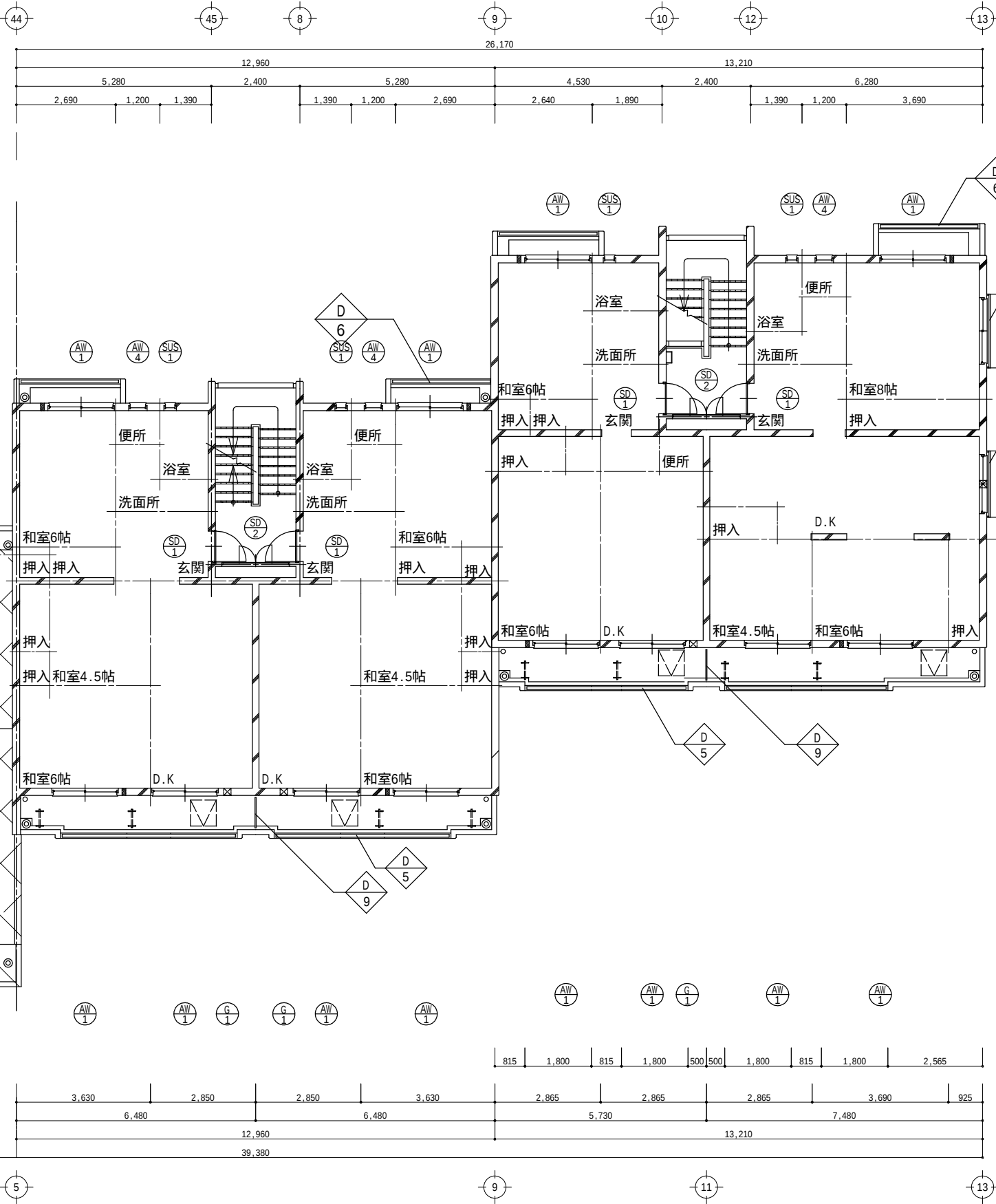
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.	DATE	SCALE	TITLE	NO.	図面縮小率
			CH.	PL.	DR.	市宮宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事	A 09	A-2 : 100%
					1/500	NAME		A-3 : 71%
						配置図		A-4 : 50%



特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.		DATE	SCALE 1/100	TITLE	NO. A 11	図面縮小率
			CH.	PL.	2024.11.		NAME		A-2 : 100%
					DR.				A-3 : 71%
									A-4 : 50%

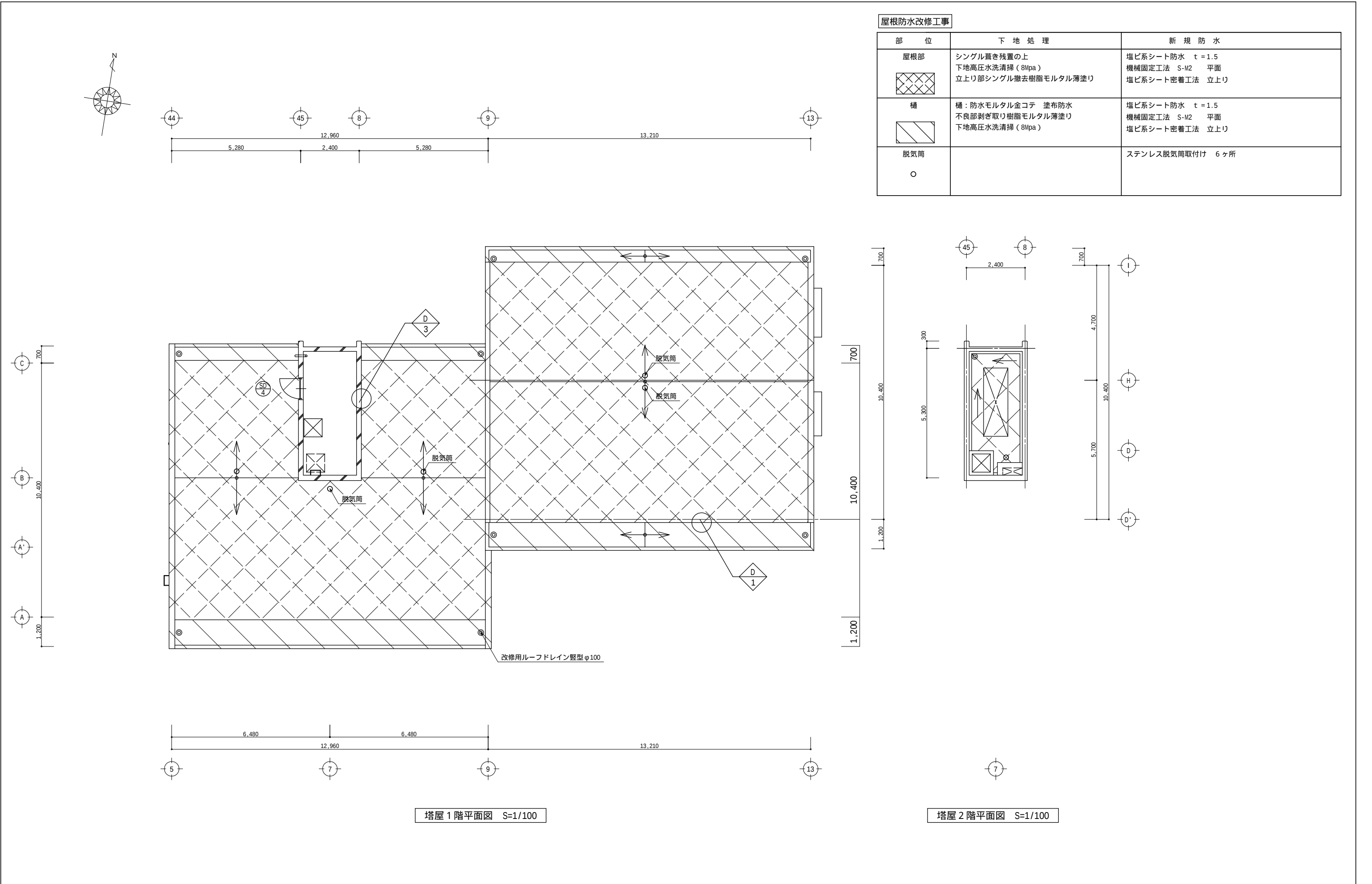
屋根防水改修工事

部 位	下 地 処 理	新 規 防 水
屋根部 	シングル葺き残置の上 下地高圧水洗清掃（8Mpa） 立上り部シングル撤去樹脂モルタル薄塗り	塩ビ系シート防水 t = 1.5 機械固定工法 S-M2 平面 塩ビ系シート密着工法 立上り
樋 	樋：防水モルタル金コテ 塗布防水 不良部剥き取り樹脂モルタル薄塗り 下地高圧水洗清掃（8Mpa）	塩ビ系シート防水 t = 1.5 機械固定工法 S-M2 平面 塩ビ系シート密着工法 立上り
脱気筒 		ステンレス脱気筒取付け 2ヶ所

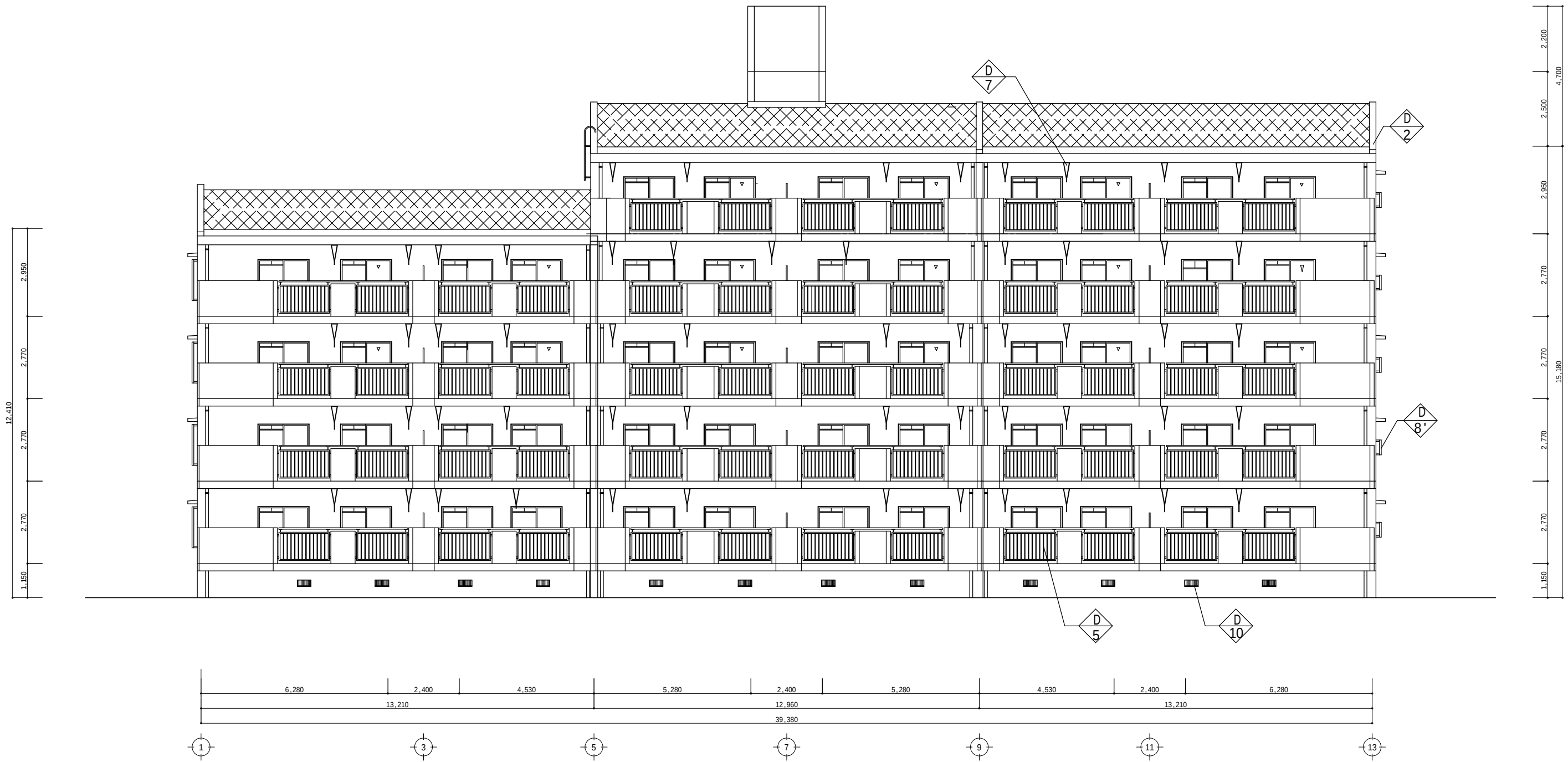


凡 例	
	コンクリート壁
	吸気カ'ラリ 150×200
	ケーラ-用スリーフ 100φ
	緩降機 700×700

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB . NO .		DATE	SCALE	TITLE	NO . A 12	図面縮小率	
			CH .	PL .	2024.11.		1/100		市営宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事	A-2 : 100%
					NAME	5 階平面図、建具配置図				A-3 : 71%
										A-4 : 50%

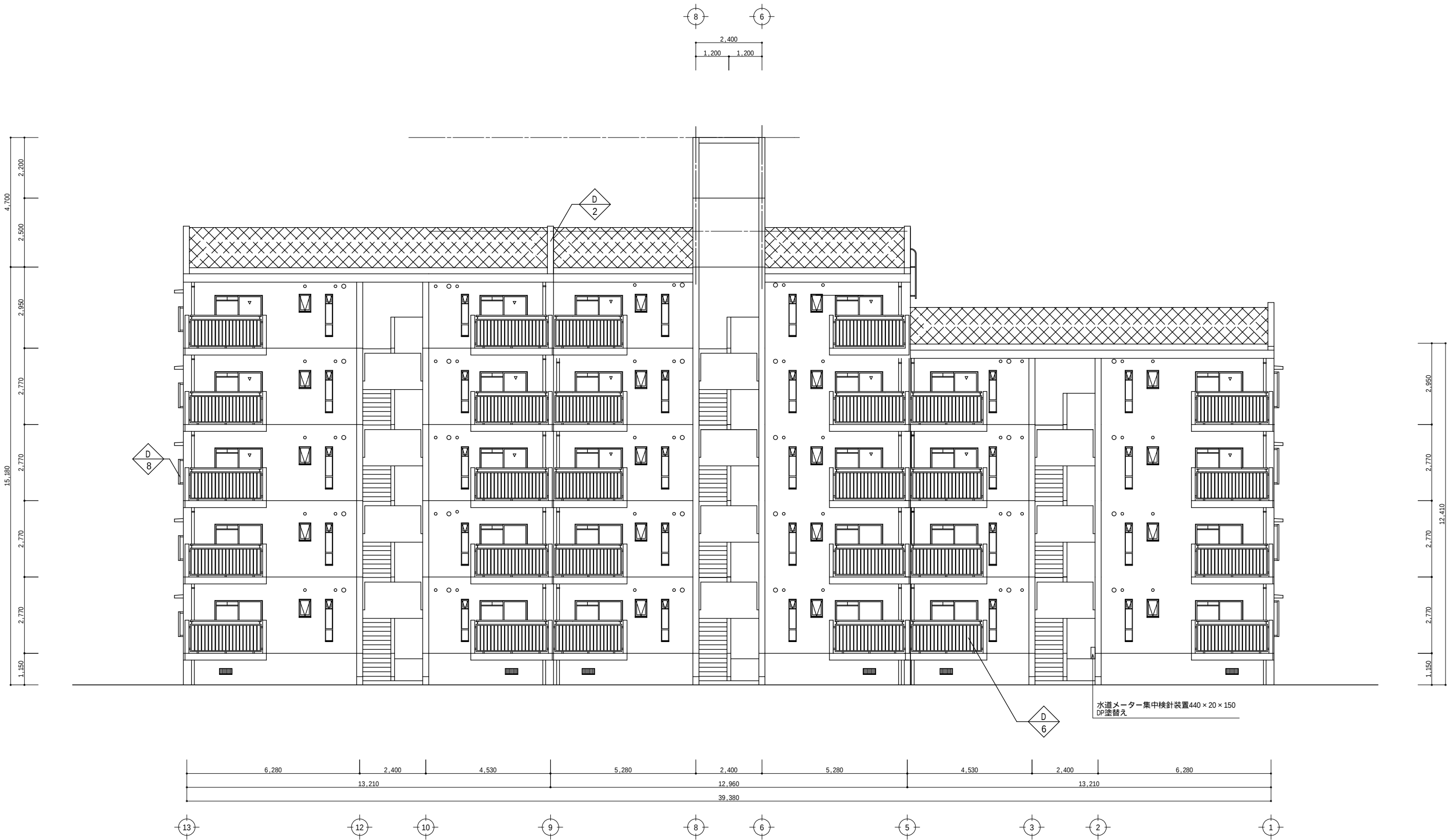


特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB . NO .		DATE	SCALE 1/100	TITLE	NO . A 13	図面縮小率	
			CH .	PL .	2024.11.		NAME		A-2 : 100%	
					DR .					A-3 : 71%
										A-4 : 50%



南側立面図 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.		DATE	SCALE	TITLE	NO. / 14	図面縮小率
			CH.	PL.	2024.11.		1/100		市営宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事
					DR.	南側立面図			

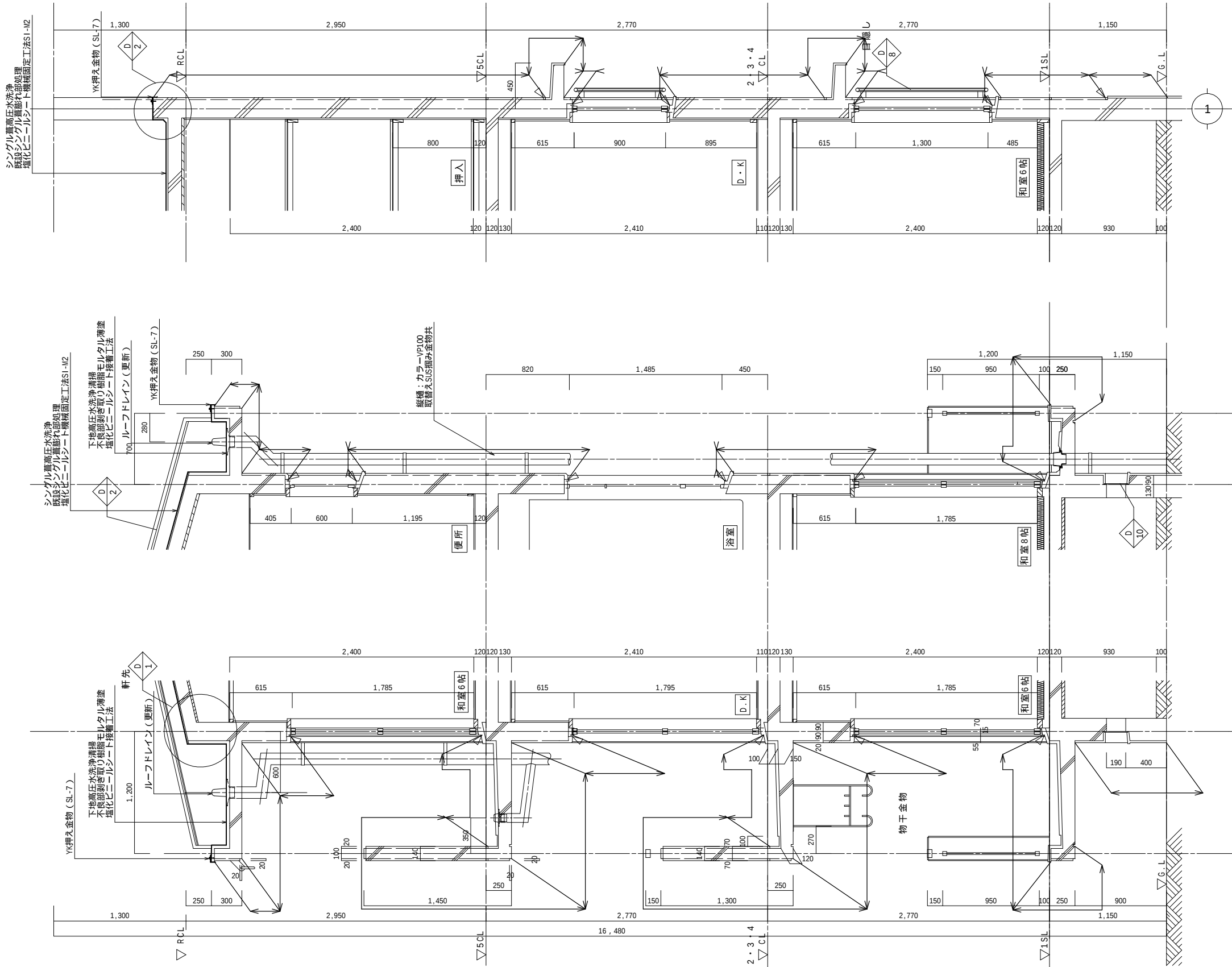


北側立面図 S=1/100

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB . NO .		DATE	SCALE	TITLE	NO . A / 15	図面縮小率
			CH .	PL .	2024.11.				1/100
					DR .		NAME		

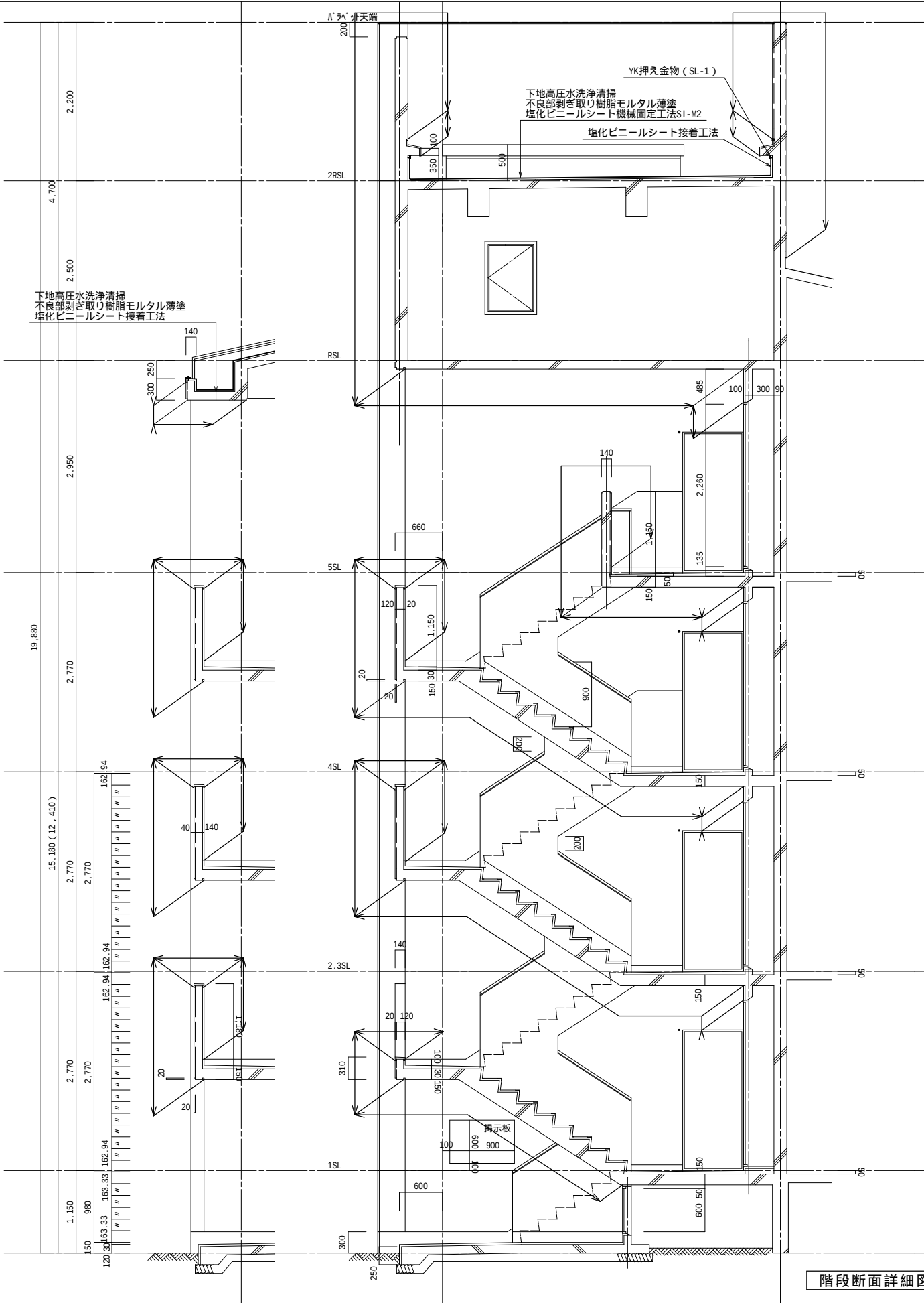


特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22（１）第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.		DATE	SCALE 1/100	TITLE 市宮宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事		NO. A 16	図面縮小率
			CH.	PL.	2024. 11. DR.		NAME 西側・東側立面図	A-2 : 100%		
								A-3 : 71%		
								A-4 : 50%		



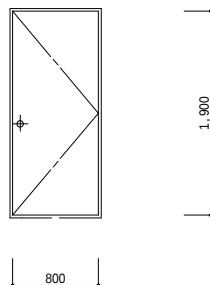
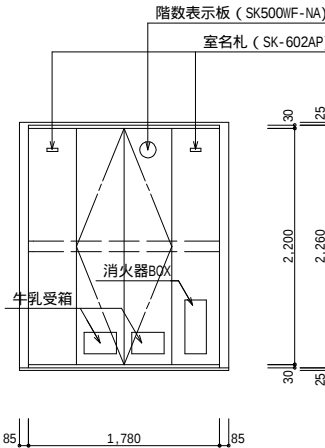
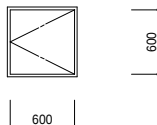
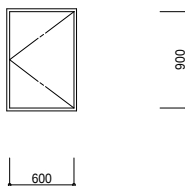
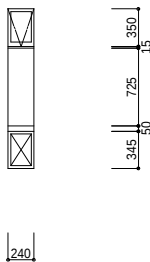
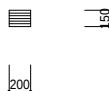
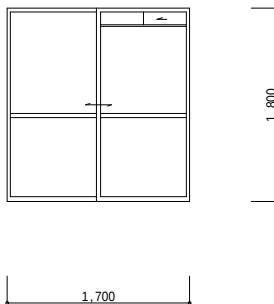
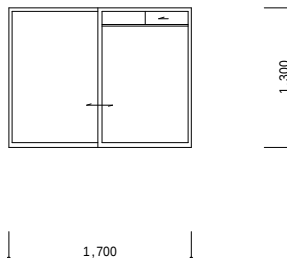
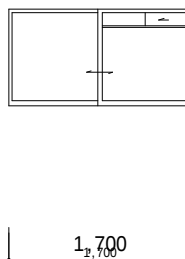
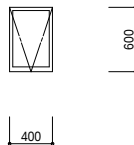
矩計図 S=1/30

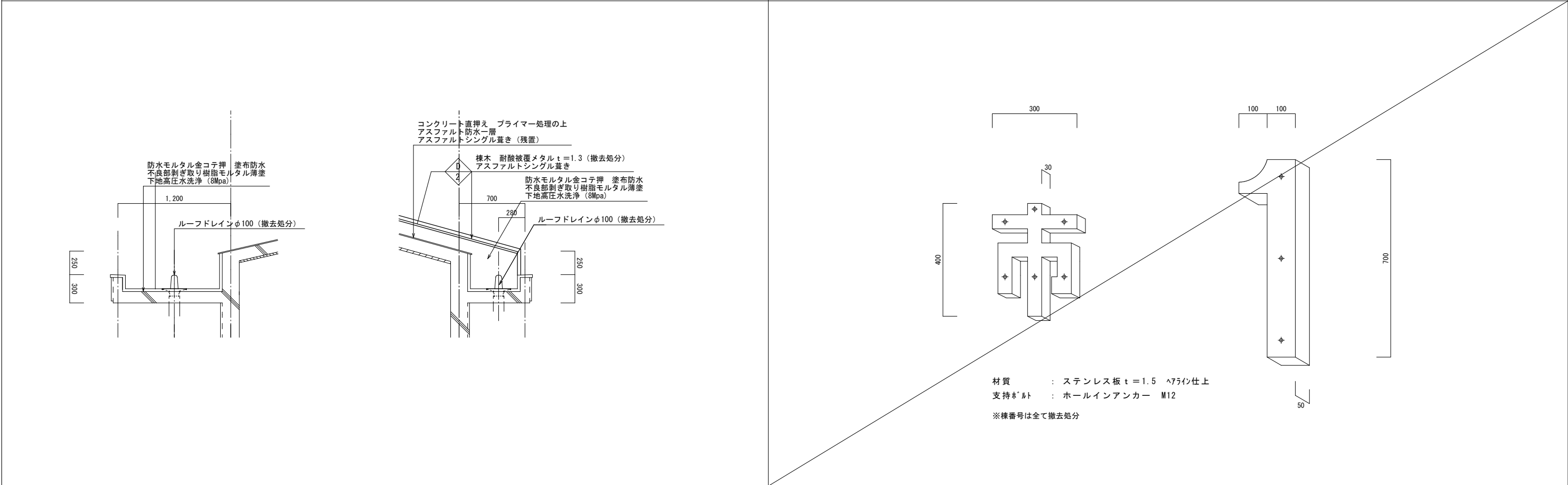
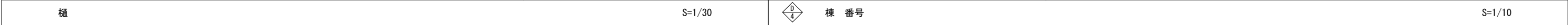
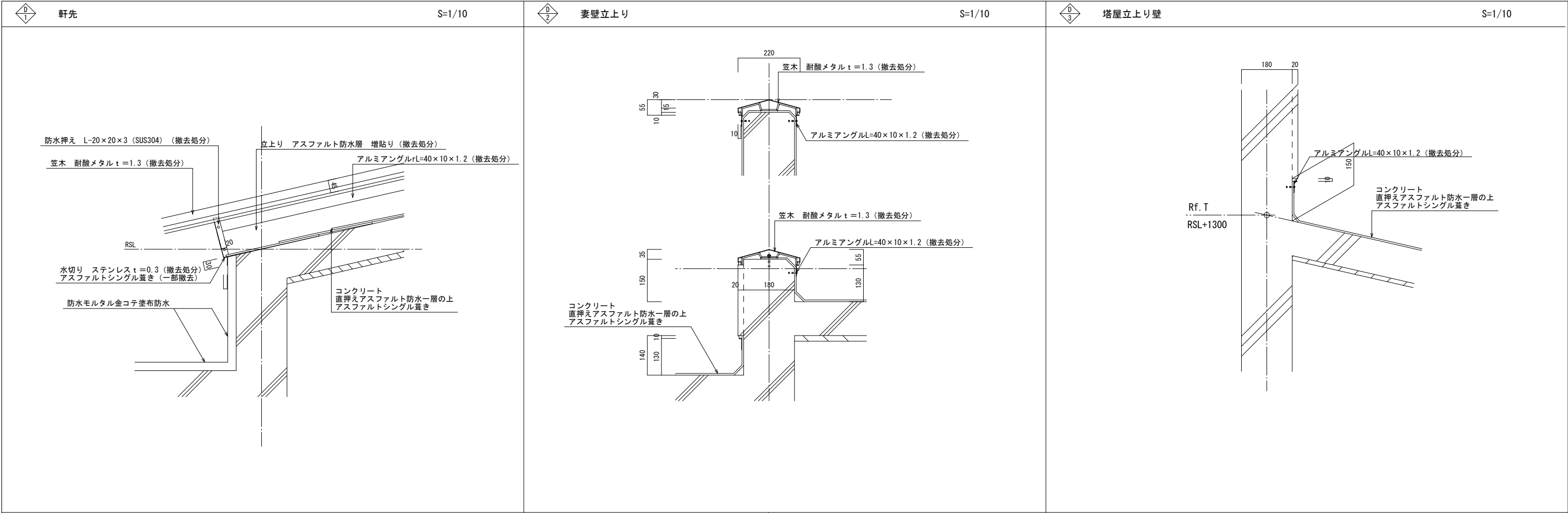
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	J O B . N O .	DATE	SCALE 1/30	TITLE	市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事 NAME 矩計図	NO . A 17	図面縮小率
			CH .	2024.11. DR .					A-2 : 100%
			PL .						A-3 : 71%
									A-4 : 50%



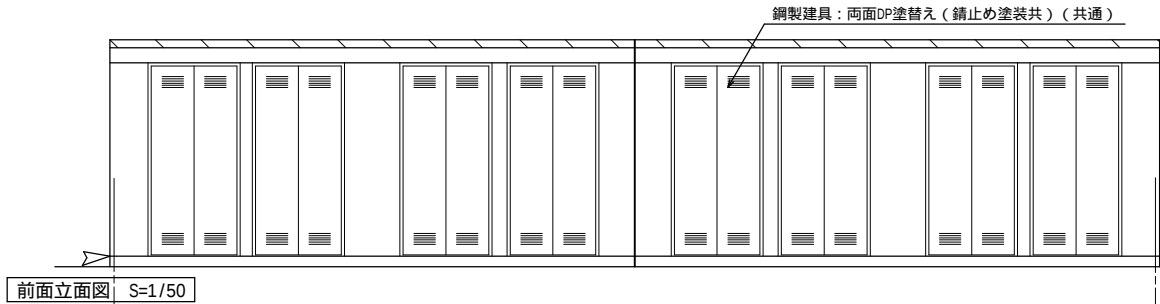
階段断面詳細図 S=1/50

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.		DATE		SCALE 1/50	TITLE		NO. A 18	図面縮小率
			CH.	PL.	2024.11.			NAME	A-2 : 100%		
					DR.				階段断面詳細図		A-3 : 71%
											A-4 : 50%

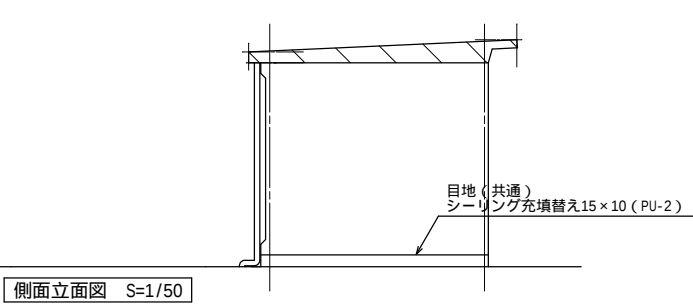
符号・場所		SD 1 玄関						SD 2 階段室			SD 3 階段室			SD 4 塔屋			SUS 1 浴室			G 1 DK								
棟	階	1階	2～4階	5階				1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	R階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階						
	1	6	6×3	4				3	3×3	2	3			1			6	6×3	4	6	6×3	4						
形状・寸法																												
材種		スチール製						スチール製			スチール製			スチール製			ステンレス製			スチール製								
型式		片開き両面フラッシュドア						両開きプレストア両袖パネル（ケントン）			片開きアングルドア			片開フラッシュドア			ハメ殺し付内倒し窓			ガラス窓								
見込・仕上		80 FP						50 FP			45 FP			86 FP			30											
金物		-----						階数表示板（SK500WF-NA）（取替）			-----			-----			-----			-----								
ガラス		-----						消火器BOX、牛乳受箱（既設のまま）			-----			-----			-----			-----								
備考		DP塗替え（両面）						DP塗替え（両面）			DP塗替え（両面）			DP塗替え（両面）			建具周囲シーリング打替え、ガラスクリーニング			DP塗替え								
符号・場所		AW 1 和室						AW 2 和室			AW 3 DK			AW 4 便所														
棟	階	1階	2～4階	5階				1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階	1階	2～4階	5階												
	1	18	18×3	12				2	2×3	1	2	2×3	1	4	4×3	3												
形状・寸法																												
材種		アルミ合金押出型材						AW 1 二準ずる			AW 1 二準ずる			アルミ合金押出型材														
型式		引違い戸小窓付												内倒窓														
見込・仕上		70												60														
金物		-----												-----			-----			-----								
ガラス		-----												-----			-----			-----								
備考		建具周囲シーリング打替え、ガラスクリーニング												建具周囲シーリング打替え、ガラスクリーニング			-----			-----								
特記事項		訂正事項					一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号					JOB. NO.		DATE		SCALE		TITLE					NO.		図面縮小率			
							岡田建築設計事務所					CH.		PL.		DR.		1/50		市営宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事					A 19		A-2：100%	
												建具表							A-3：71%									
																			A-4：50%									



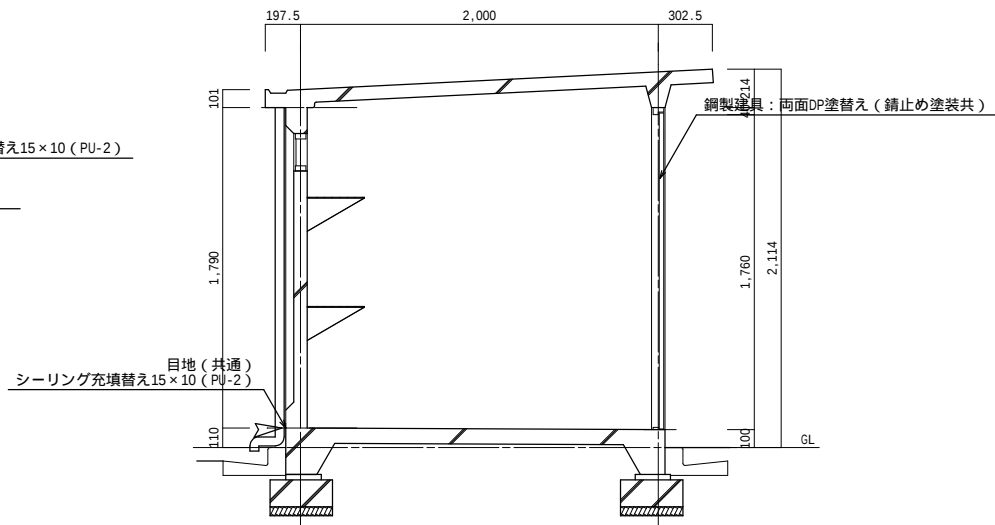
特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.	DATE	SCALE 1/30 1/10	TITLE	NO. A 21	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
			CH.	PL.		市宮宮浦北住宅1号棟外壁等改修工事		
			DR.			NAME		
						(改修前)屋根部分詳細図、棟番号		



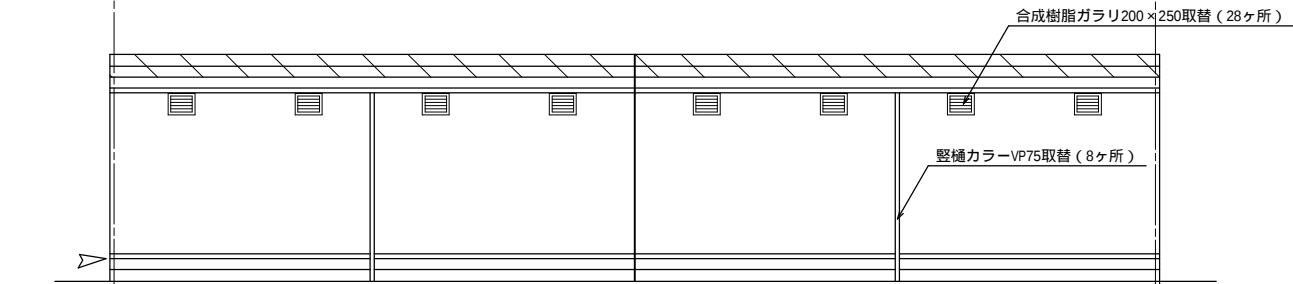
前面立面図 S=1/50



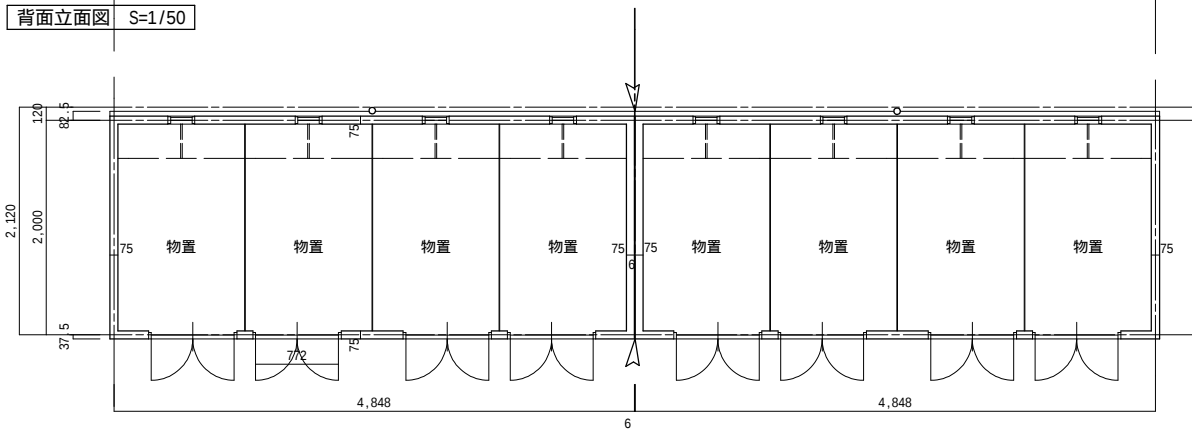
側面立面図 S=1/50



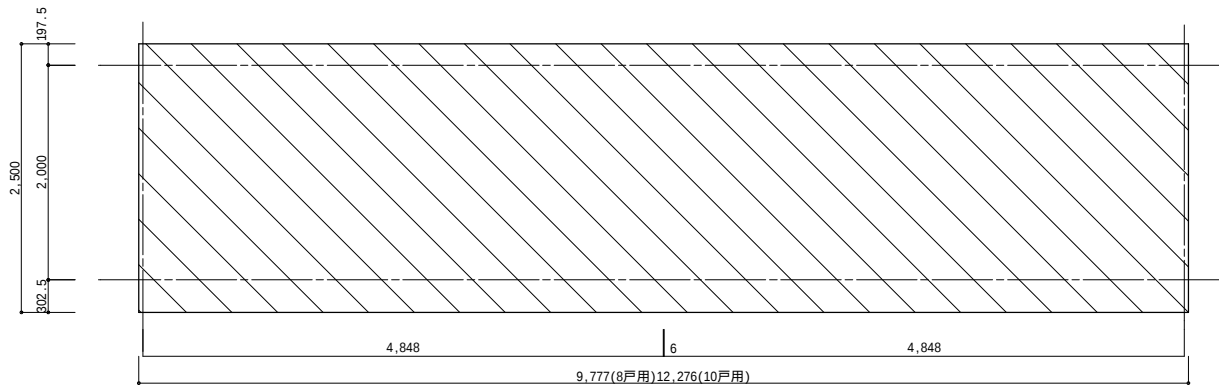
矩計図 S=1/30



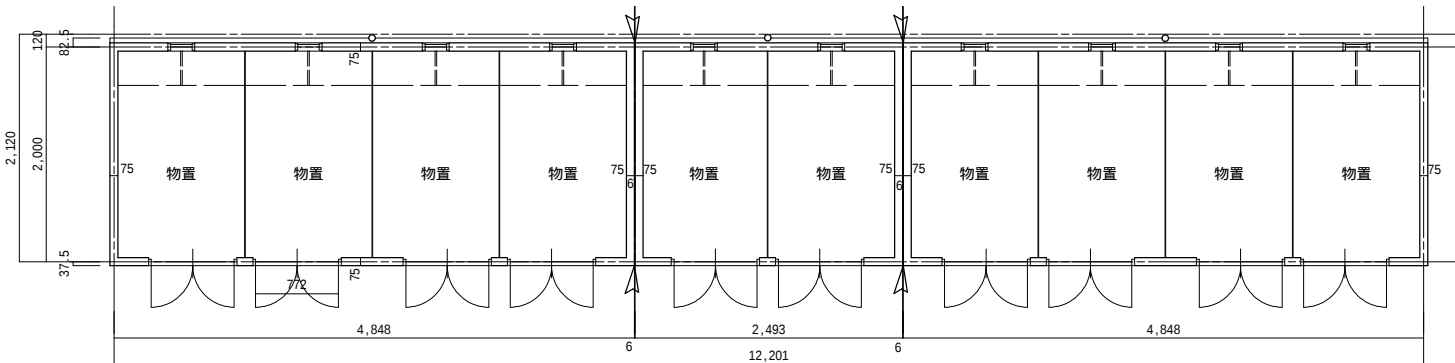
背面立面図 S=1/50



平面図（8戸用） S=1/50



屋根伏図 S=1/50



平面図（10戸用） S=1/50

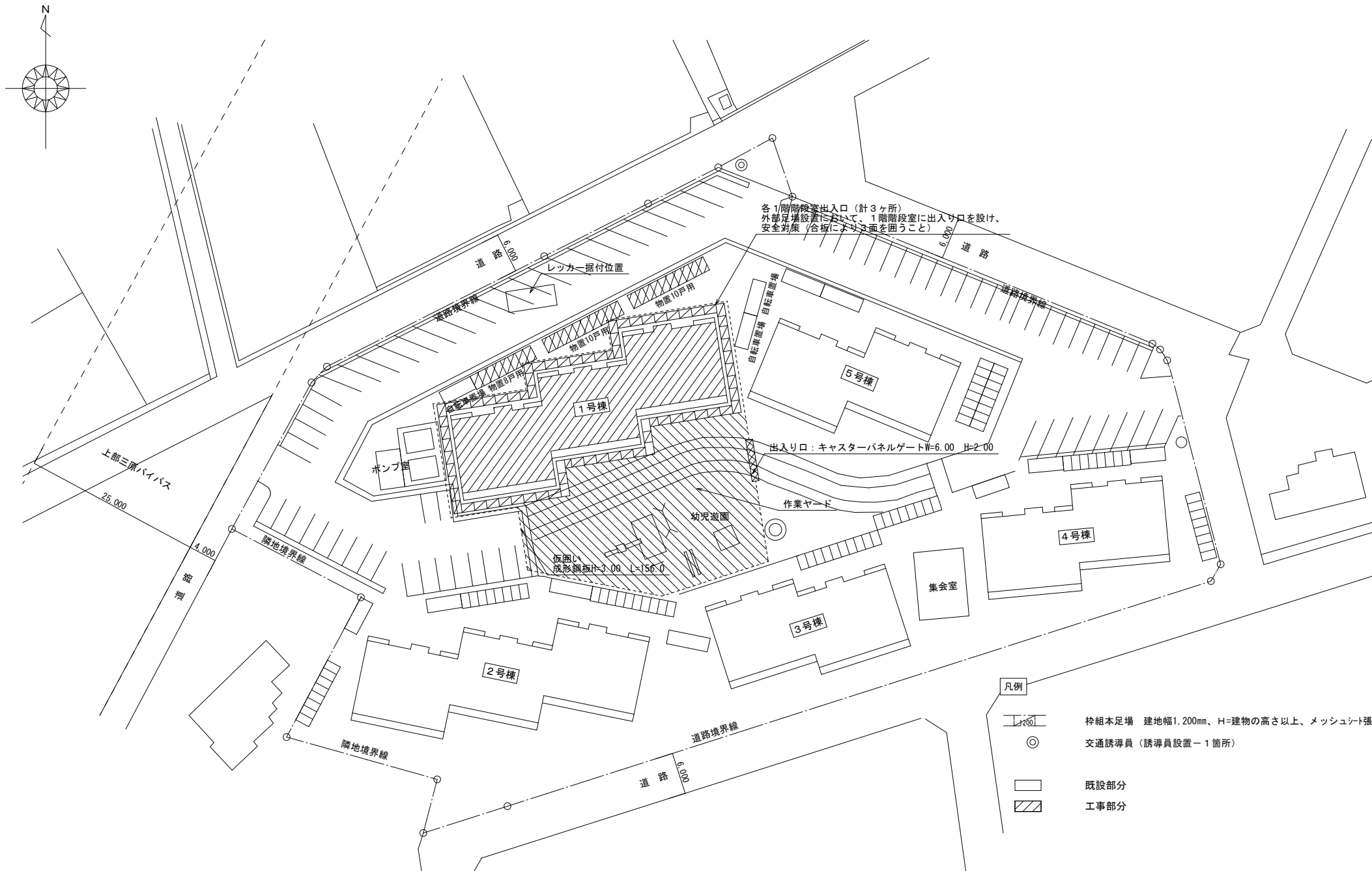
外部改修仕上表

番号	部位	改修前	改修後
	物置外壁	仕上：アクリルリシン吹付(水洗い洗浄) 下地：PC板（既設）	仕上：複層塗材E吹付（新設）
	物置屋根	仕上：PC板（高圧水洗浄）	ウレタンゴム系塗膜防水（X-2）

凡 例

▲ シーリング充填位置を示す

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22(1)第0497号 岡田 建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB . NO . CH .	DATE 2024.11. P L . D R .	SCALE 1/30 1/50	TITLE 市営宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事 NAME (物置) 外部仕上表、平面図、屋根伏図、立面図、矩計図	NO . A 23	図面縮小率 A-2 : 100% A-3 : 71% A-4 : 50%
------	------	---	--------------------	------------------------------------	-----------------------	---	-----------------	---



仮設計画図（参考図） S=1/500

仮設計画

- ・資材置き場等については、別途監督員と協議すること。
- ・工事用車両の駐車については、仮設計画図による他、別途監督員と協議すること。
- ・階段部 通路を設ける（玄関まで）

特記事項	訂正事項	一級建築士事務所 広島県知事登録22（１）第0497号 岡田建築設計事務所 一級建築士 第102449号 岡田文夫	JOB. NO.		DATE	SCALE 1/500	TITLE	NO. A 24	図面縮小率	
			CH.	P.L.	2024. 11.		DR.		市宮宮浦北住宅 1号棟外壁等改修工事	A-2：100%
									仮設計画図（参考図）	A-3：71%
										A-4：50%

参 考 数 量 書

工 事 名 称 市営宮浦北住宅 1 号棟外壁等改修工事

工 事 場 所 三原市宮浦一丁目

[工 事 概 要]

用途、構造、面積

市営住宅、鉄筋コンクリート造5階建て、延床面積1,896.57㎡

工 事 範 囲

改修工事一式（建築主体工事）

別 途 発 注 工 事

無 し

工 期

契約締結日の翌日 ～ 令和8年2月26日

一 般 事 項

《 工事予算内訳 》

合 計 金 額

〈内 訳〉

区 分

金 額

概 要

設 計 金 額

消 費 税 額

合 計 金 額

工事費内訳

名 称		数 量	单 位	金 額	備 考
直接工事費					
建築工事		1	式		
計					
共通費					
共通仮設費		1	式		
現場管理費		1	式		
一般管理費等		1	式		
計					
工事価格		1	式		
消費税等相当額		1	式		消費税率 10 %
工事費		1	式		

工事種別内訳

[illegible]

建築工事 種目別内訳

[illegible]

建築工事 科目別内訳

建物外部改修

[illegible]

建築工事 細目別内訳

建物外部改修		外壁改修工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 RC造標準日数 修理費含む 22m未満 5階建 建築面積2,000㎡	2,001	㎡			
内部階段仕上足場	RC造標準日数 修理費含む	176	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む 建築面積2,000㎡	144	m			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 RC造標準日数 修理費含む 5階建 建築面積 750㎡	2,001	㎡			
養生(外壁改修)		279	㎡			
養生	一 般 RC・SRC造 外部階段	176	㎡			
整理清掃後片付け (外壁改修)		279	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般 RC・SRC造 外部階段	176	㎡			
出入口養生	階段室開口部 周囲合板張り	20.9	㎡			
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0001
(外壁改修)						
複層塗材 E (アクリルタイル) (基準単価)	凸部処理 吹付け 下塗1回・ 基層塗1回・模様塗1回・ 上塗2回 水系アクリルつやあり	2,549	㎡			
下地調整費	モルタル・プ ラスター	2,549	㎡			
既存仕上材サンダーケ レン		2,549	㎡			

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	2,549	m ²			
(天井改修)						
外装薄塗材 E	ALC [®] 祢面 砂壁状 吹付け 下地調整費(E) 共	33.7	m ²			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	33.7	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1) 共	372	m ²			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	372	m ²			
(窓庇)						
窓庇 塗膜防水	ウレタン [®] ム系 X-2	31.7	m ²			
窓台 塗膜防水	ウレタン [®] ム系 X-2	28.7	m ²			
高圧洗浄		60.4	m ²			
下地調整費	モルタル・プ [®] ラスター	60.4	m ²			
床下換気口 DP塗り	鉄面 錆止め共	1	式			別紙 00-0003
(補修)						
C-1 クラック部打放し面サ ビ [®] 鉄筋処理		12	m			
D-1 モルタル面はつり		4	m ²			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 屋根防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	575	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	575	m ²			
(防水)						
屋根面 塩ビ系シート防水	t=1.5 機械固定工法 S-M2 密着工法	421	m ²			
立上り 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法	16.8	m ²			
笠木天端 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法	12.1	m ²			
屋根樋床 塩ビ系シート防水	t=1.5 機械固定工法 S-M2 密着工法	57.9	m ²			
立上り 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法	42.2	m ²			
笠木天端 塩ビ系シート防水	t=1.5 S-M2 接着工法	12.2	m ²			
防水押え金物	SL1 M4	30.3	m			
防水押え金物	SL7	177	m			
脱気筒	ステンレス製	8	か所			
(既存面補修)						
既存面 高圧水洗浄工法	床面 (既存面)	421	m ²			

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 屋根防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既存面 高圧水洗浄工法	床面（既存撤去面）	57.9	m ²			
既存面 高圧水洗浄工法	立上り	59	m ²			
既存面 高圧水洗浄工法	笠木天端	24.3	m ²			
下地 樹脂モルタル薄塗り	平面	479	m ²			
下地 樹脂モルタル薄塗り	立上り	59	m ²			
下地 樹脂モルタル薄塗り	笠木天端	24.3	m ²			
（既存撤去処分）						
既存シングル葺き撤去	床面（141m2）	1	式			
金属笠木撤去		65.6	m			
水切り撤去		281	m			
計						

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 ベランダ防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	312	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	312	m ²			
(防水)						
庇床 塗膜防水	ポ リマーセメント系 (PA-1)	141	m ²			
立上り 塗膜防水	ポ リマーセメント系 (PA-1)	35. 4	m ²			
(既存面補修)						
既存面 高圧水洗浄工法	床・立上り面 (既存面)	177	m ²			
(シーリング 補修)						
仕上見切 シーリング		269	m			
シーリング 撤去	集積共	269	m			
計						

建築工事 細目別内訳

建物外部改修 物置屋根、外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 RC造標準日数 修理費含む 22m未満 5階建 建築面積2,000㎡	187	㎡			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 RC造標準日数 修理費含む 5階建 建築面積 750㎡	187	㎡			
養生(外壁改修)		190	㎡			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	85.9	㎡			
整理清掃後片付け (外壁改修)		190	㎡			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	85.9	㎡			
仮設材運搬		1	式			
(外壁改修)						
複層塗材 E (アクリルタイル) (基準単価)	凸部処理 吹付け 下塗1回・ 基層塗1回・模様塗1回・ 上塗2回 水系アクリルつやあり	120	㎡			
下地調整費	モルタル・プ ラスター	120	㎡			
既存仕上材サンダーケ レン		120	㎡			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	120	㎡			
(屋根防水)						
屋根 塗膜防水	ウレタンゴム系 X-2	94.2	㎡			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

建物外部改修		発生材運搬処分				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(積み)						
発生材積み	プラスチック	1.8	m3			
発生材積み	不燃ｶﾞﾗ	0.1	m3			
(運搬)						
発生材運搬	プラスチック	1.8	m3			
発生材運搬	不燃ｶﾞﾗ	0.1	m3			
(処分)						
発生材処分	プラスチック	2.5	t			
発生材処分	不燃ｶﾞﾗ	0.2	t			
(スクラップ)						
スクラップ	鉄くず	0.11	t			
スクラップ	アルミくず	32	kg			
計						

建築工事 別紙明細

建物外部改修		外壁改修工事				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0001
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	2,001	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	5階建	176	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	144	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		2,001	m ²			
計						
床下換気口 DP塗り	鉄面 錆止め共	1	式			別紙 00-0003
サビ落とし(m2)		2.5	m ²			
素地ごしらえ	鉄鋼面 工程B種	2.5	m ²			
錆止め塗料塗り	鉄鋼面(屋内外) 工程A種 塗料A種(鉛・クロムフリー種) 現場2回目 1回目別途	2.5	m ²			
DP塗り (基準単価)	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	2.5	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

建物外部改修 物置屋根、外壁改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0009
仮設材運搬 (杵組本足場) (手すり先行方式)	建杵幅900(二枚布)	187	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		187	m ²			
計						
鋼製建具 DP塗り	鋼製建具面 錆止め共	1	式			別紙 00-0008
サビ落とし(m2)		110	m ²			
素地ごしらえ	鉄鋼面 工程B種	110	m ²			
錆止め塗料塗り	鉄鋼面(屋内外) 工程A種 塗料A種(鉛・クロムフリー1種) 現場2回目 1回目別途	110	m ²			
D P 塗り	鋼製建具面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	110	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

建物外部改修 手摺等改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄面 DP塗り	鋼製手摺り 錆止め共	1	式			別紙 00-0013
サビ落とし(m2)		339	m ²			
素地ごしらえ	鉄鋼面 工程B種	339	m ²			
錆止め塗り (現場1回) (基準単価)	鉄鋼面(屋内外) 塗料A種 工程A種	339	m ²			
DP塗り (基準単価)	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	339	m ²			
計						
ポर्ट面 DP塗り	隔て板 錆止め共	1	式			別紙 00-0014
下地調整 改修仕様	ポर्ट面 RB種(塗替え面)	41.8	m ²			
素地ごしらえ (基準単価)	ポर्ट面 工程B種	41.8	m ²			
DP塗り (基準単価)	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	41.8	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

[illegible]

共通仮設費(積上) 明細

[illegible]

現場管理費(積上) 明細

[illegible]